

(第2号様式)

宮総実第 2655 号
令和7年 3月 19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古総合実業高等学校
校長 千葉 直史
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	会議室	出席状況
第1回	7月18日(木) 15:00~16:00	場所	会議室	出席者:学校評議員4名 校長、教頭(2名)、事務長 教務主任進路指導主任、生徒指導主任
第2回	12月19日(木) 15:00~16:00	場所	会議室	出席者:学校評議員3名 校長、教頭(2名)、事務長 教務主任進路指導主任、生徒指導主任
第3回	3月18日(火) 14:00~15:30	場所	会議室	出席者:学校評議員3名 校長、教頭(2名)、事務長 教務主任 進路指導主任

2 学校評議員に求めた事項

第1回では学校長の学校経営方針と1学期の学校の状況を各部署(教務部、進路指導部、生徒指導部)の状況報告、生徒指導に関わる校則見直しに向けた取組状況を説明し、それに対する助言や意見要望を伺った。
第2回では2学期の学校の状況を各部署(教務部、進路指導部、生徒指導部)の状況報告と生徒指導に関わる新校則を説明し、それに対する助言・意見・要望を伺った。
第3回では主に令和6年度学校評価(教職員、生徒、保護者、学校評議員それぞれに行った)の集計・まとめを説明し、意見・要望を伺った。

3 学校評議員の意見

- ・生徒指導におけるイエローカードを1日に複数枚もらう生徒もいたりする。イエローカードを切る基準を明確にして説明した方が良い。
- ・大学には行きたいがどの大学に行きたいかわからない生徒が多い。保護者も、どのような取り組みがあるのかわからない保護者も多い。どのように進路指導しているのか、保護者への取組状況の説明など工夫が必要。
- ・講演会等で具体的で生徒自身が考える内容の講話で、家庭に持ち帰り、親子で話し合う機会がくれたので良かった。
- ・部活動加入率の低さが見られるが、部活動加入推進に向けてはどのような考え方なのか。
- ・働き方改革において、ゆとりがないとか悩みのある先生方への対応はどのように行っているのか。
- ・1, 2年生の進路意識を高めるための進路指導部の取組(キックオフ研修、進路ガイダンス)は良い取組だと思う。
- ・学期末における通知表作成など大変な業務もあると思う。評価の方法、通知表は必要なかどうか。
- ・保護者の立場としては通知表に書かれているコメント等、ありがたい部分はある。
- ・福祉関係の離職率が高い。高校において福祉関係への就職のための取組(インターシップ 受入等)を連携強化していきたい。

4 学校運営に反映した事項

第1回の学校評議員会で校則の見直しのご意見を伺い、その後、校則見直しに向けて職員代表(管理者、生徒指導主任、生徒会顧問)と生徒代表、保護者代表を交え、生徒指導に関する校則見直しに向けた話し合いを重ね、その中での意見も踏まえて、12月から新しい校則での運用に結びつけることができた。

5 課題その他

- ・薬物乱用防止講演をして頂いた講師が所属する「がじゅまる沖縄」は発達の特性を持つ部分への対応に特化した支援を行っている。そうした部分も今後活用してもいいのではないか。
- ・授業の様子を見ていると、少人数で生徒の選択に合わせた授業展開ができています。また、いろいろな大人との対話の機会を設定することが大切なので、そうした機会を多く設定して頂けるとありがたい。